

I 安全の確保



平成 28 年度の事業概要	平成 27 年度の実績	実績 評価
<p>1 商品等・サービスの安全性確保</p> <p>(1) 商品等の安全性の調査 (経済労働局)</p> <p>① 商品等の安全性確保 商品等による事故情報の収集に努めるとともに、社会的に安全性の問題が提起された商品等について実態調査を行い、必要な場合は公表する。</p> <p>② 消費生活用製品安全法に基づく立入検査等 消費生活用製品の安全性については、消費生活用製品安全法に基づき、基準適合マーク (P S C) その他について、販売施設に立入検査等を行う。適宜、法の趣旨を説明し理解を求める。 立入店舗数 10 店舗 検査点数 300 点</p> <p>③ 電気用品安全法に基づく立入検査等 電気用品の安全性については、電気用品安全法に基づき、基準適合マーク (P S E) その他について、販売施設に立入検査等を行う。適宜、法の趣旨を説明し理解を求める。 立入店舗数 5 店舗 検査点数 20 点</p> <p>④ ガス事業法に基づく立入検査等 ガス用品の安全性については、ガス事業法に基づき、基準適合マーク (P S T G) その他について、販売施設に立入検査等を行う。適宜、法の趣旨を説明し理解を求める。 立入店舗数 3 店舗 検査点数 5 点</p> <p>⑤ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく立入検査等 液化石油ガス器具の安全性については、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づき、基準適合マーク (P S L T G) その他について、販売施設に立入検査等を行う。適宜、法の趣旨を説明し理解を求める。 立入店舗数 5 店舗 検査点数 25 点</p>	<p>1 商品等・サービスの安全性確保</p> <p>(1) 商品等の安全性の調査</p> <p>① 商品等の安全性確保 特に実態調査すべきものはなかった。</p> <p>② 消費生活用製品安全法に基づく立入検査等 立入検査を実施した結果、特に危害を及ぼす商品は販売されていなかった。 立入検査 5 回 (1月1回) (2月2回) (3月2回) 立入店舗数 10 店舗 検査点数 591 点</p> <p>③ 電気用品安全法に基づく立入検査等 立入検査を実施した結果、特に危害を及ぼす商品は販売されていなかった。 立入検査 4 回 (1月1回) (2月2回) (3月1回) 立入店舗数 8 店舗 検査点数 222 点</p> <p>④ ガス事業法に基づく立入検査等 立入検査を実施した結果、特に危害を及ぼす商品は販売されていなかった。 立入検査 3 回 (1月1回) (2月2回) 立入店舗数 3 店舗 検査点数 26 点</p> <p>⑤ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく立入検査等 立入検査を実施した結果、特に危害を及ぼす商品は販売されていなかった。 立入検査 4 回 (1月1回) (2月2回) (3月1回) 立入店舗数 6 店舗 検査点数 66 点</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>

I 安全の確保

平成28年度の事業概要	平成27年度の実績	実績評価
<p>(2) 安全確保のための表示基準（経済労働局） 商品やサービスの使用又は利用の仕方によって身体への危害が問題になった場合、発生を防止するための使用や利用の方法などの表示について事業者が遵守すべき基準の設定について速やかに検討する。</p>	<p>(2) 安全確保のための表示基準 基準の設定を必要とする問題は発生しなかった。</p>	◎
<p>(3) 商品テスト（経済労働局） 苦情相談の処理にあたって、当該苦情商品の原因究明調査を行う必要があると認めるときは、国民生活センター等の検査機関に苦情商品の調査を依頼する。また、<u>クリーニングに関しては、地方消費者行政推進交付金を活用し、3回を限度として専門機関に検査を委託する。</u></p>	<p>(3) 商品テスト 【調査依頼先】 国民生活センター 0件 製品評価技術基盤機構(NITE) 1件 <u>神奈川県クリーニング生活衛生同業組合</u> 0件</p>	◎
<p>(4) 家庭用品安全対策（健康福祉局） 広域販売網をもつ大型小売店舗やベビー用品販売店等を中心に、外国製の乳幼児用繊維製品に重点をおいた試買検査を実施し、安全性の確認と小売業者等に対する監視指導を行う。また、消費者を対象にした講習会の開催、パンフレットの配布などにより家庭用品に関する正しい知識の普及啓発を図る。</p>	<p>(4) 家庭用品安全対策 試買検査数 31件 規制対象外家庭用品検査 0件 衛生講習会 32件 パンフレット作成 1,000部</p>	◎
<p>(5) 健康リビング対策（健康福祉局・区役所） 市民の健康を支える快適で安全な居住環境の確保支援を目的に、健康リビングに関する情報提供、啓発活動を実施する。また、相談・要望に応じて居住環境の調査を行い、問題解決を支援する。</p>	<p>(5) 健康リビング対策 相談・調査件数 90件 衛生講習会 97件 パンフレット作成 2,000部</p>	◎
<p>(6) 公園の遊具の安全点検（建設緑政局・区役所） 公園遊具の安全性確保のため、年2回の点検を行う。</p>	<p>(6) 公園の遊具の安全点検 公園遊具を年2回点検した。</p>	◎
<p>2 食の安全性確保 (1) 農作物の安全性確保（経済労働局） 生産段階における農産物の安全性確保のため、適正な農薬使用及び防除記録の作成を指導し、環境にやさしい環境保全型農業の推進に努め、安全・安心な農作物の安定供給を図る。</p> <p>① 農作物病虫害防除の手引きの作成 農業者に対し 4,200部配布（3月）</p>	<p>2 食の安全性確保 (1) 農作物の安全性確保</p> <p>① 農作物病虫害防除の手引き作成 農業者に対し 4,500部配布（3月）</p>	◎

平成28年度の事業概要	平成27年度の実績	実績評価									
<p>② 多摩川梨病害虫防除暦の作成 農業者に対し 250部配布(3月)</p> <p>(2) 食品営業施設等への立入検査(健康福祉局・区役所)</p> <p>① 食品営業施設への立入検査 「川崎市食品衛生監視指導計画」に基づく営業施設の監視指導を実施し、食中毒等による健康被害の防止を図る。</p> <p>② 食鳥処理場への立入検査 食鳥処理場の監視指導を行い、食鳥肉の安全性を確保する。</p> <p>(3) 食品等の監視及び検査(健康福祉局・区役所) 「川崎市食品衛生監視指導計画」に基づき、市内を流通する食品等について、微生物検査(食中毒菌等)及び理化学検査(残留農薬等)を実施するとともに表示の点検を行い、違反食品等の排除を図る。 また、輸入食品についても、検疫所における違反状況等を踏まえ、計画的な検査を実施する。</p> <p>(4) 食中毒調査及び行政処分(健康福祉局・区役所) 食品衛生法に基づき迅速に調査を行い、原因食品及び病因物質等を排除し、食中毒の拡大を防止するとともに、再発防止を図る。</p> <p>(5) 夏期及び年末の食品等一斉監視(健康福祉局・区役所) 夏期及び年末に消費される食品の検査やリスクの高い食品を取り扱う業種、大規模食品流通施設等の一斉監視を行い、食品等に起因する健康被害の防止を図る。 また、食品衛生月間(8月)には、食中毒予防のため、衛生教育やイベントを開催して、食中毒予防リーフレットの配布等を行う。</p>	<p>② 多摩川梨病害虫防除暦の作成 農業者に対し 250部配布(3月)</p> <p>(2) 食品営業施設等への立入検査</p> <p>① 食品営業施設への立入検査 営業施設数 28, 405施設 監視指導件数 74, 561件</p> <p>② 食鳥処理場への立入検査 施設数 5施設 監視指導件数 4件</p> <p>(3) 食品等の監視及び検査 食品等官能検査件数 115, 914件 食品等検査検体数 1, 900検体 【主な内訳】 輸入食品 109検体 残留農薬検査 33検体 組換えDNA技術応用食品検査 18検体(遺伝子組換え食品検査)</p> <p>(4) 食中毒調査及び行政処分 食中毒発生件数 7件 行政処分件数 5件</p> <p>(5) 夏期及び年末の食品等一斉監視 夏期及び年末の食品等一斉監視</p> <table border="1" data-bbox="829 1444 1396 1579"> <thead> <tr> <th></th> <th>夏期(7~8月)</th> <th>年末(11月15日~12月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業施設監視指導</td> <td>14,065件</td> <td>10,907件</td> </tr> <tr> <td>食品等収去検査</td> <td>409検体</td> <td>250検体</td> </tr> </tbody> </table> <p>食品衛生月間(8月) 懸垂幕・ポスター等の掲示 (市内保健所・中央卸売市場食品衛生検査所)</p> <p>衛生教育 7回 581名 監視指導 8,046件</p>		夏期(7~8月)	年末(11月15日~12月)	営業施設監視指導	14,065件	10,907件	食品等収去検査	409検体	250検体	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
	夏期(7~8月)	年末(11月15日~12月)									
営業施設監視指導	14,065件	10,907件									
食品等収去検査	409検体	250検体									

I 安全の確保

平成28年度の事業概要	平成27年度の実績	実績評価
<p>(6) 自主的な衛生管理の推進(健康福祉局・区役所)</p> <p>① 営業者等に対する研修 営業者等による自主的な衛生管理の推進に向け、効果的な指導等を行うとともに、講習会を実施する。 また、食品衛生巡回指導を行う(一社)川崎市食品衛生協会の「食品衛生指導員」の育成のため、研修会を開催する。</p> <p>② 食品衛生推進員による活動 社会的信望があり、熱意と識見を有する者に、食品衛生推進員を委嘱し、営業者等による自主的な衛生管理の推進や市民への啓発活動の担い手としての人材育成も目指す。</p>	<p>(6) 自主的な衛生管理の推進</p> <p>① 営業者等に対する研修 食品衛生責任者実務講習会 14回 (受講者 2,503名) その他の衛生教育(健康福祉局実施分を含む) 74回 4,342名 巡回指導実施状況(食品衛生指導員) 夏期(H27.7.15~H27.8.15) 巡回施設数 3,046施設 指導員数 延べ 574名 年末(H27.12.1~H27.12.28) 巡回施設数 3,193施設 指導員数 延べ 452名</p> <p>② 食品衛生推進員による活動 食品衛生推進員の委嘱 372名 (平成26年度委嘱 任期:H26.7.1~H28.6.30)</p>	<p>◎</p> <p>◎</p>
<p>(7) 消費者への啓発(健康福祉局・区役所)</p> <p>市民や配食ボランティア活動団体等に対し、食中毒多発期間に発令される食中毒警報等の情報提供を行うとともに、意見交換等を通じて食品衛生に関する正しい知識の普及を図る。</p>	<p>(7) 消費者への啓発 各種講習会等の開催 65回 (延べ参加者 2,049名) 【警報等発令期間(神奈川県)】 食中毒警報 H27.7.23~H27.10.14 ノロウイルス食中毒警戒情報 H27.11.2~H28.3.31</p>	<p>◎</p>
<p>(8) 学校給食の安全性確保(教育委員会事務局)</p> <p>① 給食用食材の検査 学校に納入された食材を採取し、衛生検査を定期的に行い、安全性の確認を図る。 【内容】 ・細菌検査及び理化学検査 (成分規格及び動物用医薬品検査等を含む) ・残留農薬検査 ・遺伝子組換え検査</p> <p>② 給食室の環境衛生検査 ・外観検査(施設整備及び管理状況) 調理室、食品の取扱、排水及び周囲の状況 その他 ・給食室の環境検査(室温、湿度、照度) ・食器具類の洗浄状況(デンブン、脂肪性残留物検査) ・食器具類の消毒状況(一般細菌及び大腸菌群検査) ・保存食の保存状況</p>	<p>(8) 学校給食の安全性確保</p> <p>① 給食用食材の検査 検査項目件数 432件 (検査食品数 83件) 【内容】 ・細菌検査及び理化学検査 307件 (成分規格及び動物用医薬品検査等を含む) ・残留農薬検査 120件 ・遺伝子組換え検査 5件</p> <p>② 給食室の環境衛生検査(5項目)117校 ・外観検査(施設整備及び管理状況) 調理室、食品の取扱、排水及び周囲の状況 その他 ・給食室の環境検査(室温、湿度、照度) ・食器具類の洗浄状況(デンブン、脂肪性残留物検査) ・食器具類の消毒状況(一般細菌及び大腸菌群検査) ・保存食の保存状況</p>	<p>◎</p> <p>◎</p>

平成28年度の事業概要	平成27年度の実績	実績評価
<p>③ 給食従事者等への啓発 研修会を開催し、食中毒発生防止や食品の安全に関する正しい知識の講習をする。 【衛生管理研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 給食調理員、 栄養教諭・学校栄養職員、 学校薬剤師 ・内容 講演・学校給食調理場における衛生管理の実態 <p>(9) 保育園給食の安全性確保(こども未来局)</p> <p>① 調理従事者(こどもにかかわる保育者すべてを含む)の衛生管理 毎月定期的に検便による細菌検査(赤痢菌、サルモネラ菌、腸管出血性大腸菌O157、O26、O111)を実施し、衛生管理に努める。</p> <p>② 食品の安全衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納品業者の衛生管理について確認する。 ・納品の際には検収を行い、品質及び鮮度の確認を行う。 ・食品の生産地、製造元、製造年月日等の情報については、入手できる限り記録し把握する。 <p>③ 給食施設・設備の衛生管理 年2回、業務委託による園舎内の害虫駆除を実施するとともに、施設・設備の点検を行い、衛生管理に努める。</p> <p>④ 給食担当者食品衛生研修会 保育園給食における食中毒予防のために給食担当者を対象に食品衛生研修会を開催し、衛生管理に関する知識の向上を図る。</p> <p>第1回 実施月 5月下旬 対象 市内保育園栄養士、調理師、調理員、給食担当者、各区地域みまもり支援センター担当保育所等地域連携担当、栄養士 講師 健康福祉局保健所職員 内容 食品衛生に関する最新情報 保育園給食における衛生管理</p> <p>第2回 実施月 6月上旬 対象 民間園給食担当者</p>	<p>③ 給食従事者等への啓発 衛生管理研修会(8月) 対象 給食調理員、 栄養教諭・学校栄養職員、 学校薬剤師 参加者 261名 内容 講演 「学校給食における食中毒防止について」</p> <p>(9) 保育園給食の安全性確保</p> <p>① 調理従事者の衛生管理 調理従事者だけでなく、子どもにかかわる保育者すべて、毎月定期的に検便による細菌検査を実施。</p> <p>月平均 1,614件 年延件数 19,753件</p> <p>② 食品の安全衛生管理 保育園ごとに納品業者と年度分の請書を交わし、納入食材に関する仕様を確認。 業者に対し従業員の検便や製品の自主検査を依頼し、提出のあった実施結果については各園にて保管。 食品の生産地、製造元、製造年月日等の情報を各園にて記録。</p> <p>③ 給食施設・設備の衛生管理 業務委託による害虫防除の実施(2回) 前期 6月中旬～7月下旬 保育園45箇所 後期 11月中旬～12月中旬 保育園45箇所</p> <p>④ 給食担当者食品衛生研修会 実施月 5月下旬 対象 市内保育園栄養士、調理師、調理員及び給食担当者 参加者 185名 講師 健康福祉局健康安全全部職員 内容 食品衛生に関する最新情報 保育園給食における衛生管理</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>

I 安全の確保

平成28年度の事業概要	平成27年度の実績	実績評価
<p>3 監視指導（健康福祉局・区役所）</p> <p>(1) 環境衛生関係営業施設 施設の衛生水準の維持向上及び業者による自主管理の支援、促進を目的として、科学的データを活用し、継続的な監視指導を行う。 (S23. 4. 2 保健所法(現 地域保健法) 施行令施行)</p> <p>(2) 専用水道及び簡易専用水道 施設への立入検査等を行い、設置者に水道法に基づく施設の管理の徹底を指導する。</p> <p>(3) 小規模水道及び小規模受水槽水道 施設への立入検査等を行い、設置者に条例又は要綱に基づく施設の管理の徹底を指導する。</p>	<p>3 監視指導</p> <p>(1) 環境衛生関係営業施設 旅館業、公衆浴場、興行場、理容所、美容所、クリーニング所、プール、温泉等の営業施設の監視指導を行い、衛生・安全の確保に努めた。 監視指導延べ施設数 3, 613件</p> <p>(2) 専用水道及び簡易専用水道 ・専用水道 立入検査延べ施設数 40件 ・簡易専用水道 立入検査延べ施設数 358件</p> <p>(3) 小規模水道及び小規模受水槽水道 ・小規模水道 立入検査延べ施設数 20件 (飲用井戸等を含む) ・小規模受水槽水道 立入検査延べ施設数 231件 (条例対象外施設を含む)</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
<p>4 商品廃棄に係る汚染防止（環境局）</p> <p>(1) 廃家電製品 特定家庭用機器再商品化法（いわゆる家電リサイクル法）の対象品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）の処理方法については、市のホームページやパンフレット等により広く周知し、適正処理を推進する。 また、それ以外の家電製品についても、適正処理を推進し、商品廃棄に係る環境汚染を防止する。</p> <p>(2) 使用済み乾電池 使用済みの筒型乾電池は、引き続き資源物収集日に分別収集を実施していく。分別収集した使用済み乾電池は専門の処理業者に委託して再資源化または適正な処理・処分を実施する。</p> <p>(3) 蛍光管 蛍光管は、生活環境事業所等での拠点回収及び普通ごみ収集日に収集を実施する。収集した蛍光管は専門の処理業者に委託して再資源化または適正な処理・処分を実施する。</p>	<p>4 商品廃棄に係る汚染防止</p> <p>(1) 廃家電製品 市内で排出される家電リサイクル法の対象品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）については、専門の処理業者による再商品化及び特定フロンの回収を行い、それ以外の家電製品については、適正処理を推進することにより、商品廃棄に係る環境汚染を防止した。</p> <p>(2) 使用済み乾電池 平成26年度末繰越保管量 132本 平成27年度収集量 770本 平成27年度処理量 803本 平成27年度末繰越保管量 99本 ※ドラム缶（200ℓ）の数 1本あたり332kg</p> <p>(3) 蛍光管 平成27年度拠点回収量 1, 660kg</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>

平成28年度の事業概要	平成27年度の実績	実績評価
<p>5 放射性物質に対する安全性確保</p> <p>(1) 食品等の検査（健康福祉局・区役所） 市内を流通する食品の放射性物質検査を行い、検査結果を速やかにホームページに掲載する。</p> <p>(2) 市内産農産物の放射性物質検査（経済労働局） 昨年度と同様に、市内産農産物の安全・安心を確保するため、関係機関と連携し、「かわさき農産物ブランド」や観光農園の農産物、作付面積の多い農産物等の主たる市内産農産物について、概ね出荷前に放射性物質検査を実施する。</p> <p>(3) 学校給食の安全性確保(教育委員会事務局)</p> <p>① 給食用食材の放射能検査及び検査結果の公表 給食で使用する予定の国内産食材を事前にサンプル的に抜き取り、放射性セシウム 134・137 による放射能検査を実施し、安全性の確認を図る。また、その結果を公表することにより、関係者への周知を図る。</p> <p>② 給食の食材の産地公表 給食で使用する予定の食材の産地を公表することにより、関係者への周知を図る。</p> <p>(4) 水道水中の放射性物質検査（上下水道局） 長沢浄水場の原水及び配水池水について、月1回放射性セシウムの検査を行いホームページ上で公表する。 万一、放射性物質が管理目標値を超えて検出された場合には、水道水の安全・安心を確保するため、水道利用者に周知し、必要に応じ給水車や飲料水の手配をする。 なお、前年度まで実施していた生田浄水場は、今年度から上水機能を廃止したため、実施しない。</p>	<p>5 放射性物質に対する安全性確保</p> <p>(1) 食品等の検査 川崎港で採取された魚介類 62 検体 市内を流通する食品 225 検体</p> <p>(2) 市内産農産物の放射性物質検査 東京電力福島第一原発事故による放射性物質の放出に伴い、市内産農産物の安全・安心を確保するため、関係機関と連携し、「かわさき農産物ブランド」や観光農園の農産物等について、計28件の放射性物質検査を実施した。 結果はすべて、検出限界値未満であった。 詳細は、ホームページを参照</p> <p>(3) 学校給食の安全性確保</p> <p>① 給食用食材の放射能検査及び検査結果の公表 給食で使用する予定の国内産食材を事前にサンプル的に抜き取り、放射性セシウム 134・137 による放射能検査を実施し、その結果をホームページに掲載。 検査食品数（国内産食材） 67 件</p> <p>② 給食の食材の産地公表 給食で使用する予定の食材の産地を使用する月の前月末までに、ホームページに掲載。</p> <p>(4) 水道水中の放射性物質検査 上下水道局の長沢浄水場及び生田浄水場の原水及び配水池水について月1回放射性セシウムを検査して結果をホームページに載せた。 【検査結果】 12 回 【検査結果】 ・放射性セシウム 全て不検出 (1Bq/kg 未満)</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>